

令和2年度第3回常磐公園の緑を考える集い 開催結果

日時 : 令和2年 8月19日(水) 10:00~12:00
会場 : 常磐公園
出席者 : 市内在住の市民 9名
旭川市土木部公園みどり課 2名
旭川市公園緑地協会 2名
有識者 1名

I 開催内容

- 1 開会
- 2 ブッシュゾーンの観測
- 3 自然更新ゾーンの実生確認・移植位置検討
- 4 日本庭園ゾーンの改良検討
- 5 樹齢の推定作業
- 6 閉会

II 会議録

別紙のとおり

点検記録簿

令和2年8月19日10:00～ 調査

ブッシュゾーンの観測について

ブッシュゾーンにてカンタン棲息の確認を試みましたが、残念ながら確認をすることはできませんでした。その他の結果としては次のとおりです。

- ・一昨年移植したヨモギが、一部水辺付近まで繁茂していることを確認しました。
- ・順調に繁茂しているため、今年度は手を加えずに経過を観測することとしました。



日本庭園エリアの視察について

日本庭園エリアの視察を行い、このエリアの利用促進を図るため、市民協働でできることを検討いたしました。昨年度の視察は10月末だったため、エリア内の様子が異なる状況での視察となりました。検討結果は次のとおりです。

- ・エリア周辺の樹木が密に生えており、圧迫感・閉塞感が感じられるため、間伐を行い鬱蒼とした雰囲気改善を図る。
- ・園路沿いの入り口が1箇所のみでわかりにくいので、石を移動させて入り口を増やし、エリアへのアクセスを改善する。

視察の際に、四阿の屋根に落ち葉が堆積している状況が確認されました。原因としては松ヤニの粘性の影響なども考えられますが、状況の確認を行い、今後対応していきたいと思っております。

ブッシュゾーン観測の様子 日本庭園エリア視察の様子

自然更新ゾーンの観察について

自然更新ゾーンの実生について育成状況等を確認し、これらの実生の今後の取り扱いについて検討いたしました。

- ・ハルニレやイタヤカエデ、カツラなど計4種6本の実生を確認できました。(1本種類不明)
- ・移植できるまでに生長した実生を確認できなかったため、移植作業は来年度以降行うこととしました。
- ・旭川ではあまりみかけないタカアザミという外来種を確認しました。

その他いただいた御意見等

- ・公園の見廻りの際に、オオハンゴンソウが確認されたため、後日駆除を行います。

自然更新ゾーン観察の様子

